



Kaselehlie

rahn lap

September-02



れんぽう ミクロネシア連邦ってどんなところ？

こんにちは。ミクロネシア連邦、ポンパイ州、アワック小学校で小学校教育という職種で青年海外協力隊として派遣されている小林未季と言います。少しずつ無理なく通信を続けていきますので不定期ですが、楽しみに待っていてくれたら嬉しいです。「ミクロネシア連邦で小学校の先生をする」というと、毎回質問されたこと。そうです。「ミクロネシア連邦ってどこにあるの？どんなところ？」ということ。恥ずかしながら、私も任地が決まった時は詳しくは知らず、ちょっと待ってねと検索するところからでした。

ミクロネシア連邦は、日本とオーストラリアの間にある大洋州という南の島の国々が集まった地域の1つです。青い海にやしの木、赤道より少し上にある南の島々。1年を通して暑い。急に降る雨は、あっという間に止んでくれることが多いです。ミクロは「小さい」、ネシアは「島々」という意味で、名前通りとても小さい島が集まってできています。連邦制をとっていて、島の中でも大きな4つの島がそれぞれ個性を持っていて、1つの国になっています。そのため、島の言語はその島ごとで異なっていたり、文化や風習も大きく違っていたり、それぞれの州の長が島の政治や経済を大きく動かしていたりします。まだまだ開発途上で、島という特性もあり天候も含め、物資が入ってこない時があったり、住んでいる人はアメリカやグアムなどへVISAなく行けるので良い人材が出ていきやすかったりすることなどが課題に挙げられているミクロネシア連邦です。日本から青年海外協力隊が派遣される内容としては、健康や保健のこと、環境のこと、そして私もそのお手伝いをさせていただいている教育のことなどで、国として力を入れていきたいところをサポートしています。



ここに住んでみるとここにしかない景色がたくさんあります。また、協力して住んでいたり、私のように外からきた人も家族の様に接してくれたり、人柄のおおらかで優しい人たちがたくさんいます。来たばかりでまだまだ分からないミクロネシア連邦ですが、この国をもっと好きになっていきたいのと、皆さんに見つけた「好き」をこの通信でも時折届けられたらと思います。